

図書館再整備検討委員会

【第1回会議】

とき 平成31年2月27日(水)

ところ 図書館本館 3階会議室

目次

(1) 図書館再整備の進め方について	
① 「風格ある県都を目指すまちづくり構想」	3
② 再整備検討委員会の役割とスケジュール	16
③ 図書館の現況	19
④ 市民・利用者アンケートの実施	22
(2) 新しい図書館のあり方について	24
その他 事務連絡	
次回開催	25

① 風格ある県都を目指すまちづくり構想について(その1)

中心市街地における諸課題

○ 公共施設の老朽化

- ・ 公会堂(築59年、休館中)
- ・ 図書館(築59年)
- ・ 中央学習センター(築59年)
- ・ 市民会館(築47年)
- ・ 消防本部・福島消防署(築47年)
- ・ その他

○ 市役所本庁舎西棟の建設延期

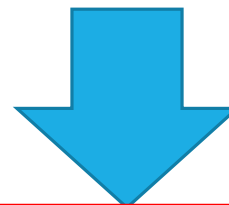
○ 人口減少、少子高齢化の進展

○ 中心市街地の空洞化

- ・ 中合式番館の閉館 等

○ 駅前再開発の動き

○ サッカースタジアム、新東西自由通路の検討



一方、本市が新しいステージへ飛躍する絶好の機会

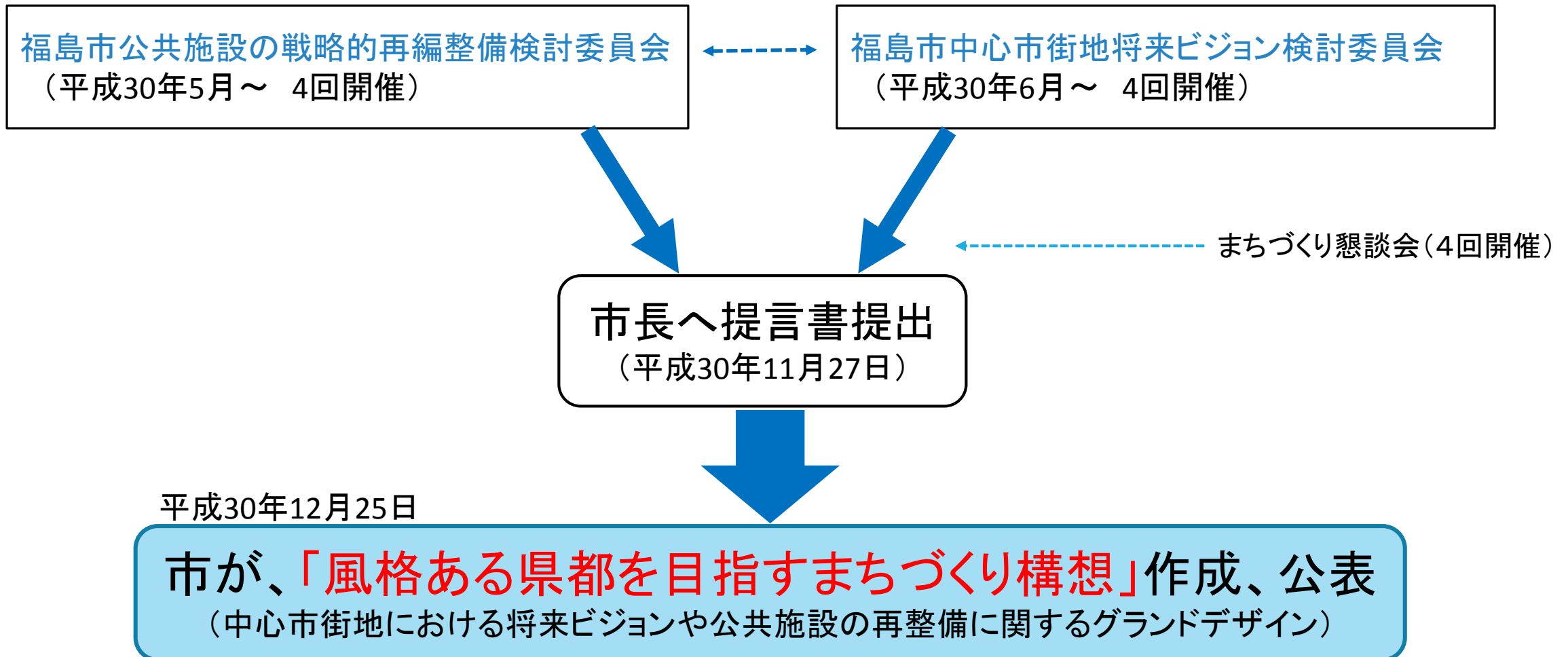
① 東北中央自動車道の開通

② 東京2020オリンピック・パラリンピック開催

中心市街地における将来ビジョンや公共施設の再編整備
の方向性の検討

① 風格ある県都を目指すまちづくり構想について(その2)

有識者などの委員による官民合同の2つの検討委員会の立ち上げ、検討



① 風格ある県都を目指すまちづくり構想について(その3)

1 中心市街地におけるまちづくりの基本的な考え方

◆ 5つの基本方針

- (1) 広域的な拠点地区として活力のあるまちづくりを推進します。
- (2) 魅力的で賑わいのあるまちづくりを推進します。
- (3) まちを楽しみ、すごせるシンボル軸・回遊空間づくりを推進します。
- (4) 快適で住みやすいコンパクトなまちづくりを推進します。
- (5) みんなが参画し、連携するまちづくりを推進します。

① 風格ある県都を目指すまちづくり構想について(その4)

2 都市機能などの強化に重点的に取り組むエリア

○今後のまちづくりにおいては、公共投資の効率化や重点化が必要となることから、

① 広域利用向けの都市機能が集積している「福島駅前周辺エリア」

② 多くの行政機能・市民利用向けの機能が集積している「市役所周辺エリア」

と位置づけ、公共施設も含めた交流・集客拠点の整備や多様な都市機能の集積・強化に向け、まちづくりを推進していきます。

① 風格ある県都を目指すまちづくり構想について(その5)

(1) 福島駅前周辺エリア

①官民連携によるコンベンション機能の強化

公会堂の機能及び市民会館の機能（近隣利用者向けの会議室機能などを除く）の統合化により、コンベンション機能を強化し、新たな集客・交流拠点として、福島駅東口地区市街地再開発事業（仮称）と連携し、再開発予定地内でのコンベンションホールなどの整備を目指します。

②シンボル軸及び回遊性の強化

福島駅周辺エリアの東西シンボル軸、南北の各ストリートなどにおいて、花や音楽など、本市の個性を生かしながら、文化的で美しい街並みや歩行空間を形成し、回遊性の強化を図ります。

また、多様なイベントが開催される賑わいの拠点として新まちなか広場を整備し、旧東口行政サービスコーナーは休憩スペース・市民活動拠点となるまちなか交流スペースとしてリニューアルします。

① 風格ある県都を目指すまちづくり構想について(その6)

(2) 市役所周辺エリア

市役所周辺は、行政機関や裁判所などの関係機関が集積するほか、多くの市民利用機能が集積するエリアとして定着しています。

さらなる市民サービスの向上に向け、公共施設のバリアフリー化や交通アクセスの改善を図るとともに、市民利用機能・防災機能の集積・強化を図ります。

① 統合・複合化による市役所本庁舎西棟の整備

公共施設の質と量の最適化や防災機能の強化を図る観点から、市役所本庁舎西棟の市民交流機能に、市民会館の機能（近隣利用者向け会議室機能など）と、敬老センターの機能、そして中央学習センター機能との統合・複合化について検討します

今後は、『新しい西棟』として調査検討を進め、早期の完成を目指します。

② 消防本部・福島消防署

耐震性が十分でない現在の施設状況や、昨今の災害発生状況などから、再整備にあたっては単独設置を基本に検討します。

① 風格ある県都を目指すまちづくり構想について(その7)

3. その他の施設

(1) 図書館本館

他施設との複合化の可能性を考えた場合、他施設の整備スケジュールとの調整を図る必要があることから、福島駅前周辺または現在地周辺などの設置場所も含めた新しい図書館の基本的な方向性やコンセプトをできるだけ早期につくります。

(2) 中心市街地の他の公共施設

建物の老朽化の状況から、長期的な維持が期待される施設や、文化財・歴史的建造物などの保持が求められる施設については、予防保全や長寿命化に取り組みながら、さらなる有効活用を図り、適宜、再整備を検討します。

(3) 福島駅新東西自由通路

民間事業者との連携や整備コスト等の課題を踏まえ、中長期的に調査研究します。

(4) サッカースタジアム

多くの検討課題があることから、引き続きホームタウンの機運醸成の取組を強化するとともに、整備のあり方について中長期的に調査研究を行います。

① 風格ある県都を目指すまちづくり構想について(その8)

4. 構想の実現に向けて

本構想の実現に向けては、あらゆる工夫を講じるとともに、市議会はもとより市民の皆様のご理解とご協力をいただきながら、スピード感を持って、オールふくしまの力を結集して取り組みます。

(1) 施設整備の検討の進め方

各施設のコンセプトや具体的な規模・機能、運営のあり方などについて、市議会における議論や、**施設毎に市民参加による検討委員会を設置**するなど、幅広く市民の皆様のご意見をいただきながら、スピード感を持って検討を進めます。

(2) 公共施設の最適化と財源の確保

施設整備にあたっては、福島市公共施設等総合管理計画の基本方針を踏まえ、真に必要な機能の選択や統合・複合化を進める等、持続可能な量と質の転換により、最適化を図ります。

また、実現に多額の費用を要する大規模プロジェクトであるため、国・県支出金や市債の有効活用はもとより、最大限の財源確保や市の財政状況を踏まえた歳出の平準化に努めます。

① 風格ある県都を目指すまちづくり構想について(その9)

4. 構想の実現に向けて

(3) 民・産・学との連携によるまちづくり

本構想に基づく取組を進めるにあたっては、国や県との連携はもとより、民・産・学などとの連携を十分に図ります。

また、民間による取組や協力は重要であり、ハード整備事業だけでなく、賑わいの創出や観光都市としての魅力を高めていくソフト事業の実施についても期待します。

市としても、中心部のまちづくり関係者や幅広い市民の参加による「まちづくり懇談会」を開催し、本構想の周知を図るとともに、民間の積極的な取組を促します。

① 風格ある県都を目指すまちづくり構想について(その10)

(参考資料)

公共施設の再編整備に係る財政試算について

1. 他自治体の類似施設整備事例等に基づく仮事業費の試算
2. 福島駅東口市街地再開発事業(仮称)について
3. 中期財政収支見通し(平成30年3月)

※詳細はホームページで確認下さい

① 風格ある県都を目指すまちづくり構想について(その11)

1. 他自治体の類似施設整備事例等に基づく仮事業費の試算

※この仮事業費等は、再編整備前の現有施設面積(市役所本庁舎西棟及び消防本部/福島消防署については仮の面積)に他自治体の施設整備実績単価等を用いて算出した参考値であり、今後の具体的な施設整備の検討によって施設面積や事業費・財源内訳に変動が生じるものです。

(単位:億円)

施設名	仮事業費	財源内訳			
		国・県支出金	市債	基金繰入金等	一般財源
コンベンション施設 (公会堂機能+市民会館機能)	120	※	90		30
市役所本庁舎西棟 (中央学習センター機能+市民会館機能 +敬老センター機能)	70	6	18	43	3
図書館本館	15	4	9		2
消防本部/福島消防署	30		24		6
合計	235	10	141	43	41

※コンベンション施設について、国・県補助金等の積極的な活用を検討して参ります。

その他 留意事項

- ・仮に市役所本庁舎西棟に立体駐車場を整備する場合、別途約5億円程度の仮事業費が見込まれる。
- ・老朽4施設及び消防本部/福島消防署の既存建物除却費用として、別途約10億円程度の仮事業費が見込まれる。
- ・老朽4施設及び消防本部/福島消防署跡地の土地売却収入額は試算していない。
- ・さんどパークに関連する仮事業費は試算していない。

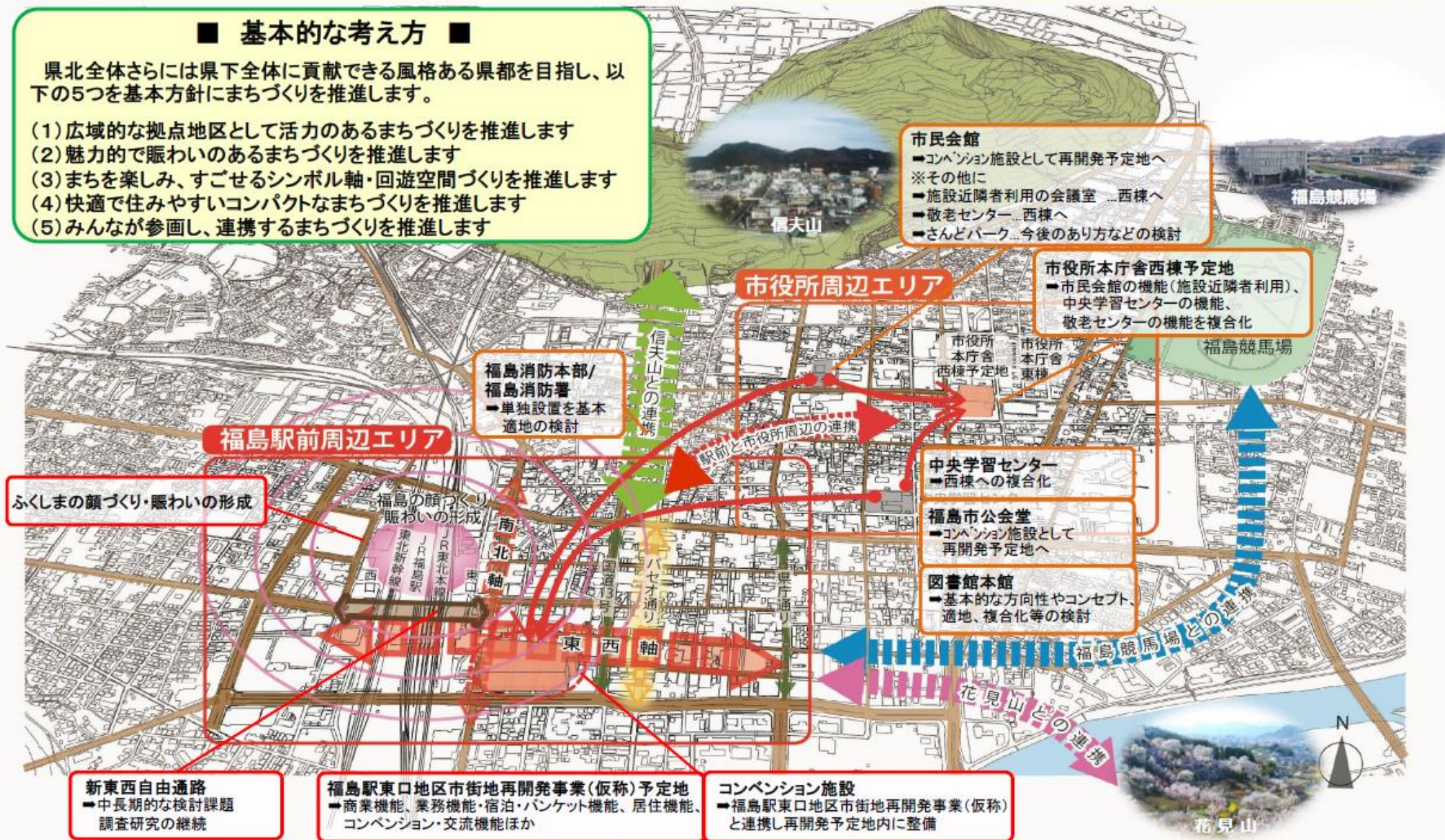
風格ある県都を目指すまちづくり構想

～福島市中心市街地における将来ビジョン及び公共施設の戦略的再編整備に関する方向性～

■ 基本的な考え方 ■

県北全体さらには県下全体に貢献できる風格ある県都を目指し、以下の5つを基本方針にまちづくりを推進します。

- (1) 広域的な拠点地区として活力のあるまちづくりを推進します
- (2) 魅力的で賑わいのあるまちづくりを推進します
- (3) まちを楽しみ、すごせるシンボル軸・回遊空間づくりを推進します
- (4) 快適で住みやすいコンパクトなまちづくりを推進します
- (5) みんなが参画し、連携するまちづくりを推進します



市民会館
→コンベンション施設として再開発予定地へ
※その他に
→施設近隣者利用の会議室...西棟へ
→敬老センター...西棟へ
→さんどパーク...今後のあり方などの検討

市役所本庁舎西棟予定地
→市民会館の機能(施設近隣者利用)、中央学習センターの機能、敬老センターの機能を複合化

福島消防本部/福島消防署
→単独設置を基本
適地の検討

中央学習センター
→西棟への複合化
福島市公会堂
→コンベンション施設として
再開発予定地へ
図書館本館
→基本的な方向性やコンセプト、
適地、複合化等の検討

福島駅前周辺エリア

市役所周辺エリア

ふくしまの顔づくり・賑わいの形成

福島の顔づくり・賑わいの形成

新東西自由通路
→中長期的な検討課題
調査研究の継続

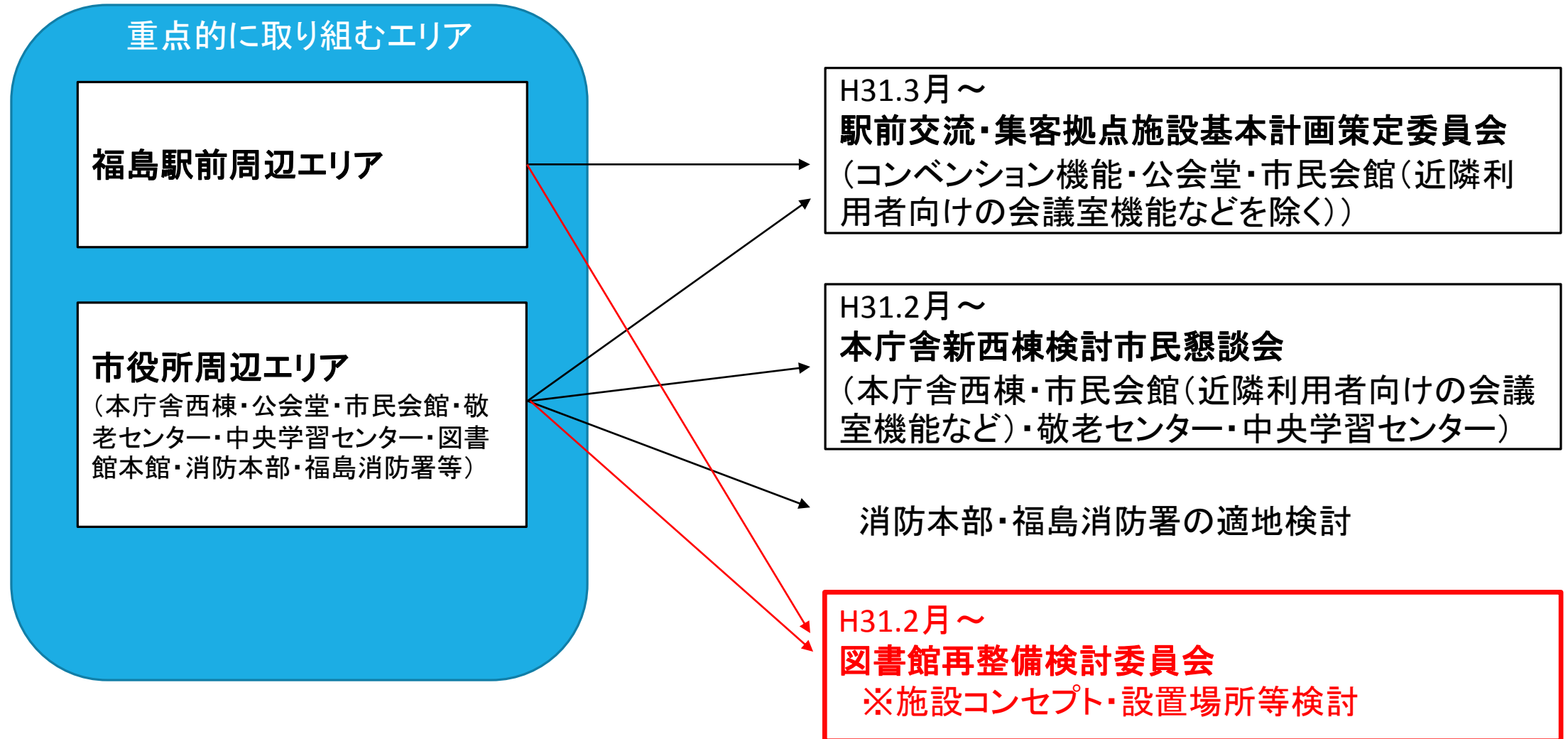
福島駅東口地区市街地再開発事業(仮称)予定地
→商業機能・業務機能・宿泊・バンケット機能、居住機能、
コンベンション・交流機能ほか

コンベンション施設
→福島駅東口地区市街地再開発事業(仮称)
と連携し再開発予定地内に整備

① 風格ある県都を目指すまちづくり構想について(その12)

①「風格ある県都を目指すまちづくり構想」について(その13)

< 「風格ある県都を目指すまちづくり構想」実現へ向けた検討組織 >



② 再整備検討委員会の役割（その1）

図書館再整備基本構想を策定するために必要な事項の検討

主な検討事項

（1）市立図書館全体の基本方針

- ・本市図書館のあり方の方向性
- ・新しい図書館のコンセプト

（2）新しい図書館本館の設置場所

（3）基本構想

- ・基本理念
- ・基本的な機能とサービス
- ・施設配置
- ・管理運営

② 再整備検討委員会の役割（その2）

スケジュール

（1）第1回検討委員会（2月27日（水））

- ・ 図書館再整備の進め方について

（2）第2回検討委員会（4月22日（月））

- ・ アンケート分析
- ・ 本市図書館のあり方の方向性のとりまとめ
- ・ 新しい図書館のコンセプト（案）検討

（3）第3回検討委員会（6月下旬）

- ・ 基本方針（案）まとめ
- ・ 設置場所（案）まとめ

◆市へ中間報告（基本方針及び設置場所）

② 再整備検討委員会の役割（その2）

スケジュール

（4）第4回検討委員会（8月中旬）

- 基本構想検討（1回目）
基本理念、基本的な機能、サービス

（5）第5回検討委員会（10月中旬）

- 基本構想検討（2回目）
基本的な機能・サービス及び施設配置

（6）第6回検討委員会（1月中旬）

- 基本構想策定

◆市へ提言（図書館再整備基本構想（案））

③図書館の現況(その1)

(1) 図書館 【所在地：市内松木町】

	<p>【現況】（平成29年度）</p>
<p>【施設基礎情報】 ※①②③は本館のみ</p>	<p>1 建物性能（※本館のみ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ①築58年で老朽化が進行しています。 ②建物の耐久性能は、旧基準で建てられたため、新基準には適合していません。 <p>2 利用状況等（※全館）</p> <ul style="list-style-type: none"> ①年間利用者は約26万人で増加傾向にあります。 ②蔵書回転率（貸出冊数/蔵書冊数）は、全国平均1.7冊に対し1.0冊です。 ③住民1人あたりの貸出冊数は、全国平均5.4冊に対し3.2冊です。 ④貸出コストは、1冊404円です。 ⑤年間運営費3.7億円に対し、図書館法により利用者の対価負担はありません。管理運営費を税金で負担（住民1人1,199円）しています。 ⑥類似施設は県立図書館があります。
<ul style="list-style-type: none"> ①昭和33年竣工/地上3階建て（公会堂と一部接続） ②延床面積：2,694㎡ ③駐車台数：20台 ④施設構成：本館/分館×2/学習セクタ-図書室×16 ⑤蔵書冊数：931,115冊（平成29年度） ⑥開館時間：月・水～土曜日 午前9時30分～午後7時 日曜日・祝日 午前9時30分～午後5時30分 	

③図書館の現況(その2)

福島市には、本館、2つの分館、16の学習センター図書室がある。

・市立図書館一覧

施設名	面積(m ²)	利用者数(人)	蔵書冊数(冊)
本館	2,695	71,880	245,406
西口ライブラリー	360	22,149	61,080
子どもライブラリー	448	11,432	48,237
蓬萊学習センター図書室	487	18,232	61,945
清水学習センター図書室	489	18,207	66,571
吾妻学習センター図書室	493	21,139	82,867
飯坂学習センター図書室	260	13,704	49,238
もちずり学習センター図書室	212	10,987	45,103
北信学習センター図書室	283	18,290	68,521
松川学習センター図書室	270	12,748	50,736

施設名	面積(m ²)	利用者数(人)	蔵書冊数(冊)
三河台学習センター図書室	47	2,429	7,010
渡利学習センター図書室	50	1,719	5,351
杉妻学習センター図書室	50	2,781	8,949
吉井田学習センター図書室	48	3,225	9,059
西学習センター図書室	44	2,149	8,007
信陵学習センター図書室	58	6,862	21,010
信夫学習センター図書室	48	4,656	16,075
吾妻学習センター分館図書室	35	6,073	14,447
飯野学習センター図書室	93	1,397	4,647
移動図書館	0	9,674	29,650
合計	6,470	259,733	903,909

③図書館の現況(その3)

図書館のサービス等について

- 閲覧、貸出
 - ・19図書館施設で閲覧、貸出、返却可能
 - ・移動図書館「しのぶ号」
- レファレンス
 - ・図書の紹介、相談
- 子ども読書活動
 - ・学校図書館支援事業
 - ・ブックスタート事業
 - ・学校支援用図書セット貸出事業
 - ・読書手帳事業
 - ・ビブリオバトル開催
- 障がい者サービス
 - ・大活字本、手でさわる絵本の貸出・対面朗読
- 事業の開催
 - ・おはなし会 ・映画会 ・朗読会 ・講座 ・講演会
- 展示
 - ・話題に応じた図書等を期間限定で展示

④ー1 市民アンケートの実施

・調査の目的

どのようにして市立図書館を再編整備すべきか、市民の皆さまからご意見をお伺いし、今後の検討の参考とするもの。

・対象者 18歳以上の市民約1,500人を無作為抽出

・主な調査項目 図書館施設の利用状況・満足度、新しい図書館にふさわしい場所の要件や機能

・調査期間 平成31年2月22日～3月18日まで

・結果集計 集計・分析後、次回検討委員会で報告予定

④ー2 利用者アンケートの実施

・調査の目的

どのようにして市立図書館を再編整備すべきか、図書館の利用者からご意見をお伺いし、今後の検討の参考とするもの。

- ・対象者 図書館(本館・分館・学習センター図書室)の利用者500人程度
- ・主な調査項目 図書館施設の利用状況・満足度、新しい図書館にふさわしい場所の要件や機能
- ・調査期間 平成31年2月22日～3月18日まで
- ・結果集計 集計・分析後、次回検討委員会で報告予定

新しい図書館のあり方について(意見交換) ～次回検討委員会へ向けて～

近年、図書館には単なる図書の閲覧や貸出、生涯の学びの場のほか、賑わい交流の場としての活用も期待されています。

<新しい図書館のあり方のキーワードの例>

- | | | |
|----------|-------------------|-----------|
| ○閲覧・貸出 | ○市民交流 | ○講座・読み聞かせ |
| ○催し物、発表 | ○レファレンス(図書の紹介、相談) | ○市民協働 |
| ○子ども読書活動 | ○賑わい | ○ICT環境 |
| ○余暇時間活用 | ○企画展示 | ○カフェ |
| ○生涯の学び | ○地域振興 | ○憩い |
| ○子育て | | |

その他 事務連絡

※ 次回開催

本年4月22日（月）13：30～を予定

内容は、アンケート分析、市立図書館のあり方の方向性のとりまとめ、新しい図書館のコンセプト（案）検討などを予定しています。

※ 各委員の皆様から、市立図書館のあり方の方向性などについてのご意見をいただきたいと存じます。

3月末を目途に事務局までお寄せください。